

学校におけるICTの活用について

令和4年2月から6月にかけての取組

令和3年度第3回堺市総合教育会議 における主な意見	取組内容
<ul style="list-style-type: none">●各学校でICT活用が苦手な教員をサポートする人材が必要	<ul style="list-style-type: none">●ICT活用の推進リーダーの育成に向けた研修実施とコミュニティサイトの開設 (令和4年5月～)
<ul style="list-style-type: none">●教員の理解不足や、ICT機器や授業ソフトの活用不安を解消する取組が必要	<ul style="list-style-type: none">●ICTの活用を積極的に推進する学校の活用事例を全学校で共有 (令和4年4月～)
<ul style="list-style-type: none">●避難訓練のように、定期的な持ち帰りテストが必要	<ul style="list-style-type: none">●学期に1回、家庭にパソコンを持ち帰り、オンライン学活等を実施 (令和4年2月～)

学校におけるICTの活用状況

○ 令和4年6月 堺市教育委員会調べによるICTの活用状況

【小学校】		令和4年6月 (A)	令和3年12月 (B)	令和3年6月 (C)	(A) (C) 比較
授業での 活用	ある	87.7%	87.9%	84.4%	+3.3P
	ない	12.3%	12.1%	15.6%	
活用頻度	ほぼ毎日	12.9%	14.5%	9.3%	+3.6P
	週1回以上	33.8%	36.6%	34.4%	▲0.6P
	月1回以上	22.4%	26.9%	27.9%	▲5.5P
	月1回未満	18.6%	10.0%	12.8%	+5.8P
【中学校】		令和4年6月 (A)	令和3年12月 (B)	令和3年6月 (C)	(A) (B) 比較
授業での 活用	ある	79.2%	71.0%	55.3%	+8.2P
	ない	20.8%	29.0%	44.7%	
活用頻度	ほぼ毎日	7.2%	4.3%	3.3%	+2.9P
	週1回以上	14.6%	15.9%	9.8%	▲1.3P
	月1回以上	29.3%	28.1%	20.6%	+1.2P
	月1回未満	28.1%	22.6%	21.6%	+5.5P

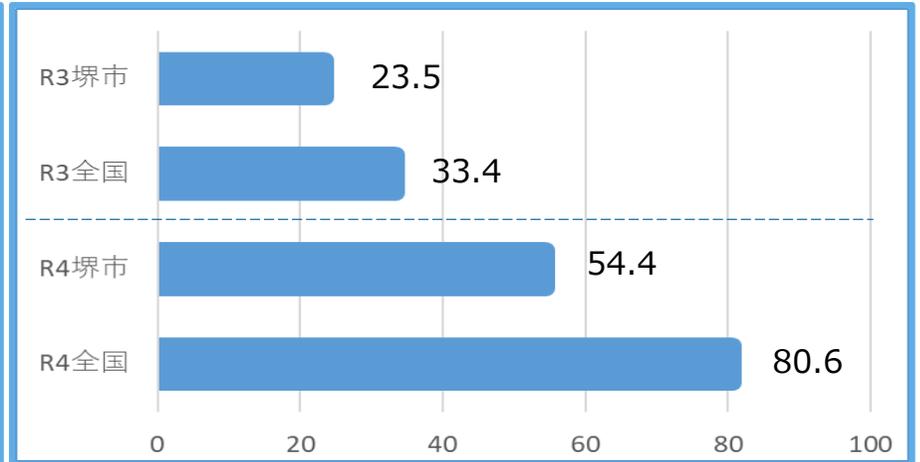
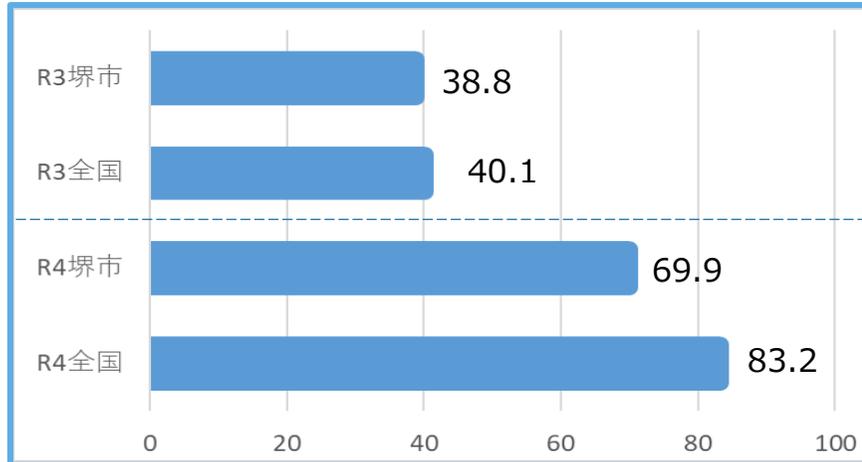
学校におけるICTの活用状況

○ 令和4年度 全国学力・学習状況調査によるICTの活用状況

前年度までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していたのか。

<小> 授業でのPC・タブレット使用頻度（1週間の平均）（%）

<中> 授業でのPC・タブレット使用頻度（1週間の平均）（%）



		令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	(B) - (A)
小学校	堺市 (A)	38.8%	69.9%	31.1%
	全国 (B)	40.1%	83.2%	43.1%
	(A) - (B)	▲1.3%	▲13.3%	▲12.0%

		令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	(B) - (A)
中学校	堺市 (A)	23.5%	54.4%	30.9%
	全国 (B)	33.4%	80.6%	47.2%
	(A) - (B)	▲9.9%	▲26.2%	▲16.3%

【総括】

- 小学校、中学校とも全国平均以下
- 前年度からの伸び率も全国平均以下
- 特に中学校で、全国との差が大きい

分析結果と方向性

【分析結果】

- 採用（任用）1年目の利用が低い
- 利用しない理由は、主に「動作の不慣れ」、「授業で使える素材不足」である
- 利用促進のため教員が求める内容は、主に「授業で使える素材の提供」、「研修の充実」である



【方向性】

- 誰でも、すぐに授業で活用できるような素材やコンテンツ、活用事例集の充実
- また、素材やコンテンツ等の活用が進むよう、教員等への認知度を高める工夫の促進
- 活用が進んでいない学校に対して相談や訪問等を行い、集合研修や研修動画の活用を促進

【令和4年12月までの目標】

- 「授業でICTを活用したことのない教員」をゼロにする
- 授業等でICTの活用を徹底（週1回以上）



ICT活用率 全国平均値以上を達成

令和4年度のこれからの取組

○ 分析結果を受けて取組を進めているもの

- 教育委員会事務局と各校長との現状認識の共有
- 各学校は、以下の取組を実践する
 - ➡ドリルコンテンツの活用(授業の振り返りなどで使用し、つまづきや苦手を克服)
 - ➡児童生徒用パソコンの持ち帰りの促進 (ドリルコンテンツ等を活用した取組の実践)
 - ➡授業で、いつでも児童生徒用パソコンが活用できる状況の醸成
- 教育委員会事務局は、10月以降、毎月、上記の取組状況を確認し、実践が不十分な学校に対して指導し、学校の取組を推進する。

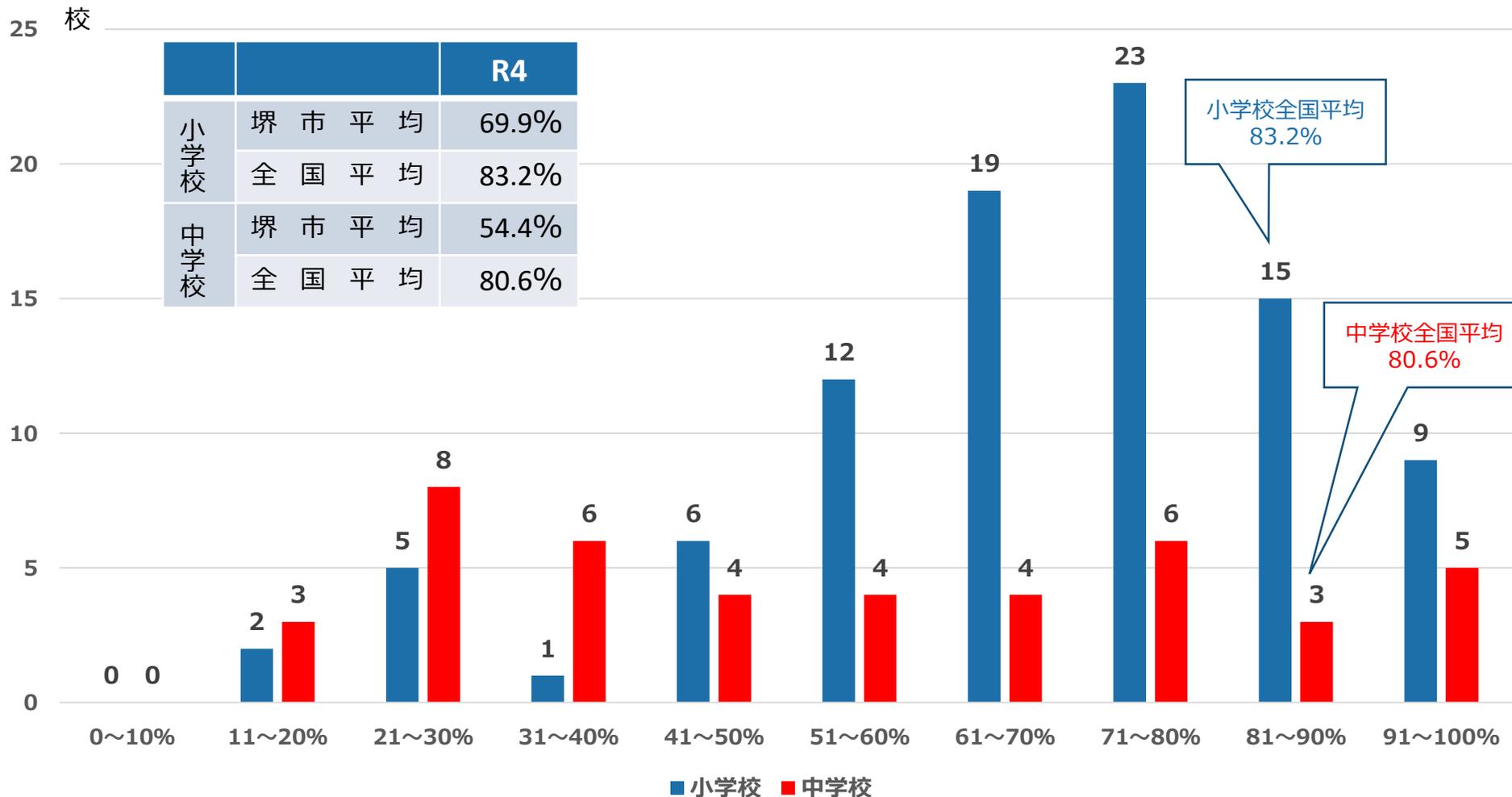
○ これからの取組

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教員向け 研修等	授業と連動したドリルコンテンツの活用実践研修 (利用法習得、事例共有)					
		推進リーダー研修 (情報共有、不安の解消)		定期的な研修により、推進リーダー同士で情報共有		
		指導主事訪問 (活用について不安な学校などへ重点訪問)	各校の取組拡大			
		コミュニティサイトでオンライン研修	コミュニティサイトで研究校の事例や好事例を随時全学校へ発信			
		総合的な学力研究校公開授業			各校の取組拡大	

○ 令和4年度 全国学力・学習状況調査より

【1】学校分布

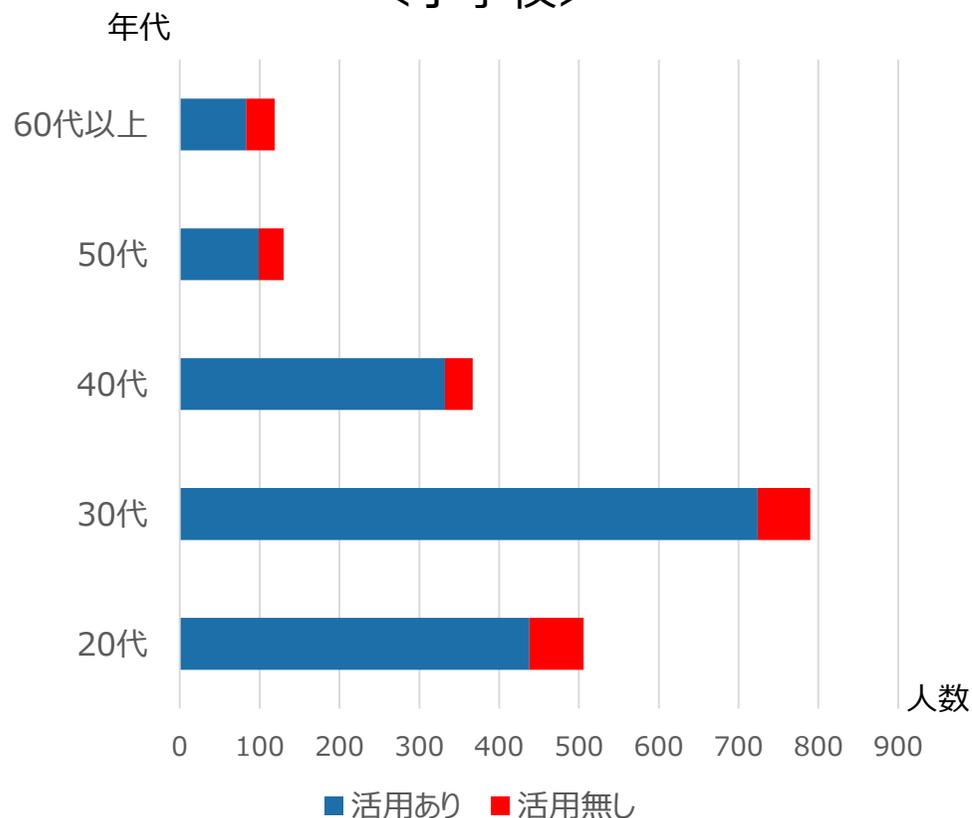
質問「小学校5年生（中学校2年生）までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」に対し週一回以上、利用していると答えた児童生徒数の割合ごとの学校数分布



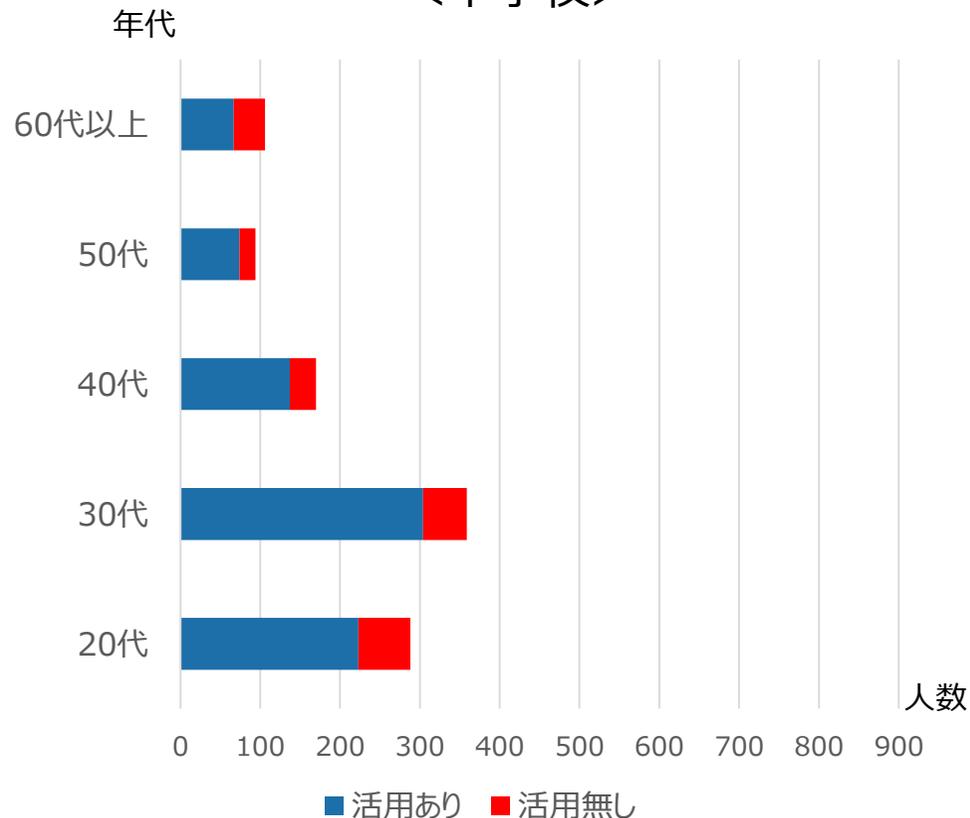
○ 令和4年6月 堺市教育委員会調べ

【2】教員の「年代別」利用状況

＜小学校＞



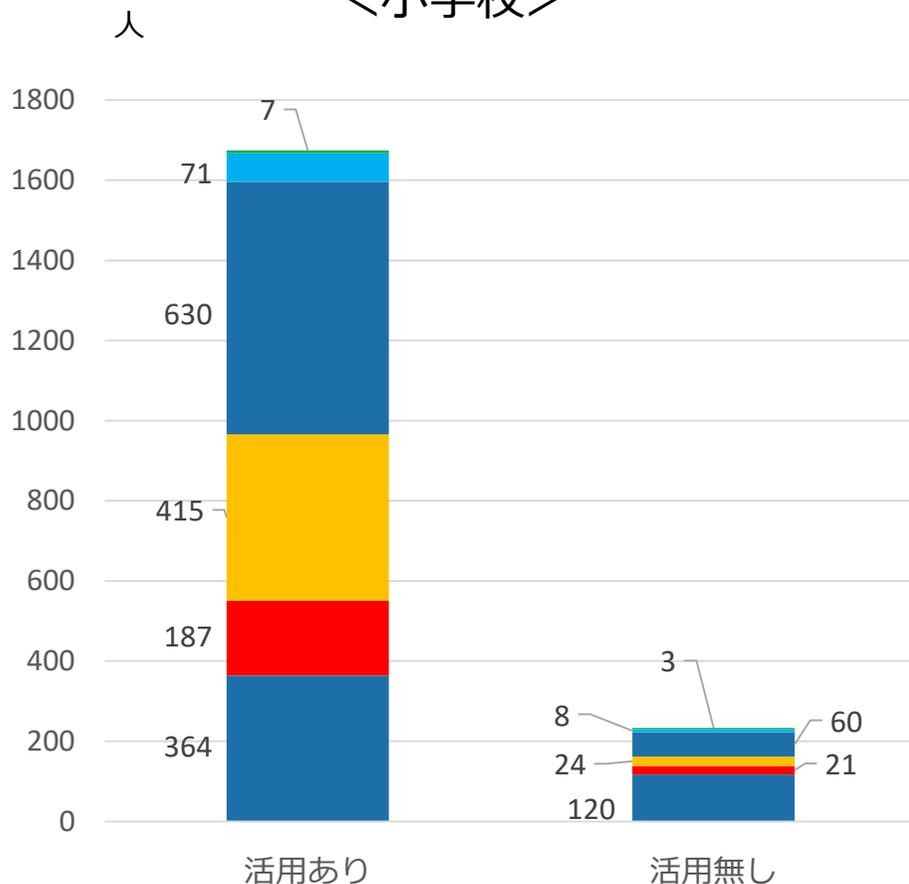
＜中学校＞



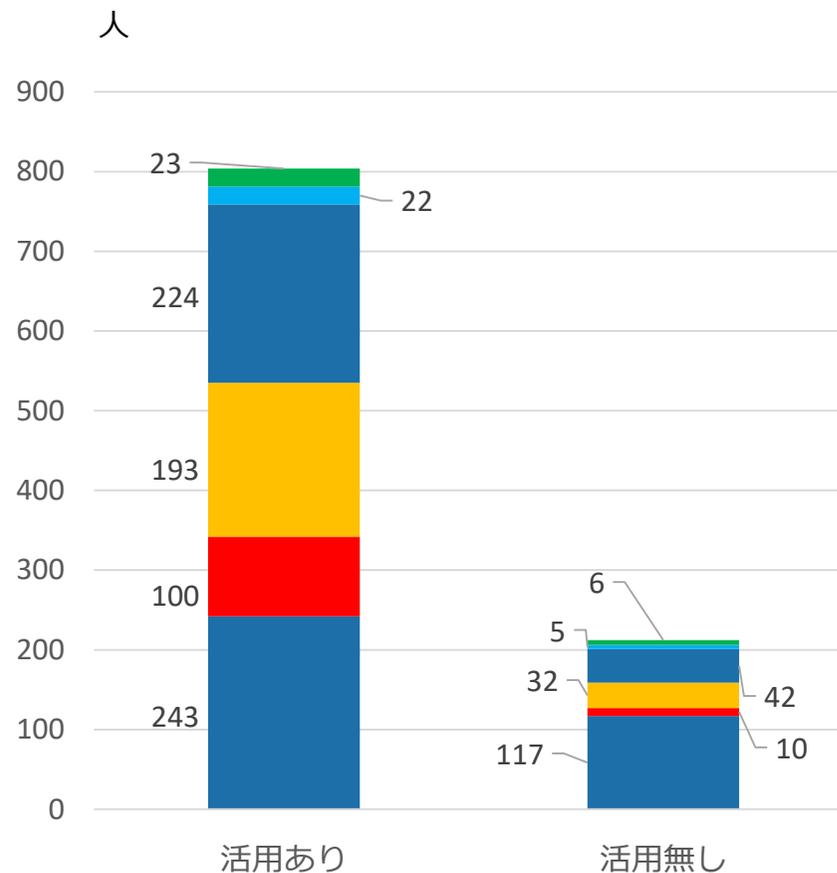
○ 令和4年6月 堺市教育委員会調べ

【3】教員の「経験年数別」利用状況

＜小学校＞



＜中学校＞



■ 1年目 ■ 2~4年目 ■ 5~9年目
 ■ 10~19年目 ■ 20~29年目 ■ 30~39年目

■ 1年目 ■ 2~4年目 ■ 5~9年目
 ■ 10~19年目 ■ 20~29年目 ■ 30~39年目

○ 令和4年6月 堺市教育委員会調べ

【4】授業で活用しなかった教員の意見

利用しなかった教員数 448人（小236/中212）

主な意見	回答数
アプリやソフトの操作が複雑で慣れない	237
授業に使える素材が少なく、簡単に利用できる実践例がない	220
身近にサポートの仕組みがない	172
操作エラー等への対応が不慣れで不安	129
事前準備などに時間がかかる	127
アプリやソフトごとに仕組みやルールが異なり、扱いにくい	58

【5】ICTの活用を進めるにあたり教員が求める内容

活用したことのある教員数 2481人（小1676/中805）

主な意見	回答数
実践事例の情報発信	1,795
研修動画の充実	1,080
集合研修の実施	592
その他（学校内での活用事例紹介、ICTサポート人材の配置、操作研修等）	308